



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 株式会社 ニッチツ

上場取引所 東

コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣瀬 靖夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 松井 慎一

TEL 03-5561-6200

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,152	8.1	139	8.3	172	11.3	107	24.2
29年3月期第1四半期	2,341	6.0	151	59.2	194	48.2	142	54.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 108百万円 (111.3%) 29年3月期第1四半期 51百万円 (72.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.07	
29年3月期第1四半期	6.69	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	16,310	11,533	70.7	542.66
29年3月期	16,147	11,488	71.2	540.54

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 11,533百万円 29年3月期 11,488百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		3.00		3.00	6.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		3.00		30.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「 」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は3円00銭となり、1株当たり年間配当金は6円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,700	2.8	220	14.8	220	29.9	140	30.6	6.59
通期	9,200	1.7	450	3.7	460	2.6	300	67.4	141.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は14円11銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	21,300,000 株	29年3月期	21,300,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	45,651 株	29年3月期	45,551 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	21,254,399 株	29年3月期1Q	21,255,709 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2ページをご参照ください。

2. 当社は平成29年6月29日開催の第92回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施することとしております。併せて同日付けで単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施する予定です。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

- (1) 平成30年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末 3円00銭
- (2) 平成30年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 14円11銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、機械関連については、船用機器の需要が、新造船の新規受注低迷の影響を受け、弱含みに推移いたしました。また、産業機器の需要も製鉄関連が低調でした。資源関連については、半導体、情報通信関連分野の需要が、堅調に推移いたしました。賃貸ビル業においては、都内オフィスビルの平均空室率は低下基調にあります。

上述の如き環境の下、当第1四半期連結累計期間の売上高は21億5千2百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益は1億3千9百万円（同8.3%減）、経常利益は1億7千2百万円（同11.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億7百万円（同24.2%減）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

#### ①機械関連事業

船用機器においては、売上は国内造船所における過年度までの受注残を背景に増加いたしました。受注は新造船の新規受注低迷を受けての造船所の建造ペースの減速の影響等により減少いたしました。産業機器は、売上は重電関連が増加したものの、製鉄関連の大型案件の一巡により減少いたしました。受注は空気予熱機や設備工事関連の需要が堅調に推移したことから増加いたしました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は13億7千5百万円（前年同期比16.4%減）、営業利益は9千9百万円（同31.0%減）となりました。

#### ②資源関連事業

結晶質石灰石部門の売上は、住宅関連資材向け需要に緩やかな回復が見られましたが、工事関連商品の需要が低調で全体として減少いたしました。半導体封止材などの原料であるハイシリカ（精製珪石粉等）部門の売上は、半導体関連及び光学関連の需要が堅調に推移し増加いたしました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は5億5千7百万円（前年同期比9.4%増）となりましたが、結晶質石灰石部門における重油の値上がり等によるコスト増があり、営業損失は8百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

#### ③不動産関連事業

新規テナントの入居により、稼働率が改善したこと等から、売上高は3千4百万円（前年同期比14.7%増）、営業利益は1千8百万円（前年同期比77.2%増）となりました。

#### ④素材関連事業

耐熱塗料の売上は、設備用、工業用とも需要が堅調で増加いたしました。また、ライナテックス（高純度天然ゴム）関連の売上も、セメント業界向け等が増加し、この結果、素材関連事業全体では、売上高は1億8千4百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益は2千7百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債、純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、163億1千万円となり、前連結会計年度末比1億6千3百万円増加いたしました。これは、受取手形及び売掛金の減少がある一方、現金及び預金の増加、仕掛品の増加があったこと等によるものであります。負債合計は47億7千6百万円となり、前連結会計年度末比1億1千8百万円増加いたしました。これは未払法人税等の減少がある一方、賞与引当金の増加、流動負債のその他に含まれている未払金及び前受金の増加があったこと等によるものであります。純資産合計は115億3千3百万円となり、前連結会計年度末比4千4百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加があったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は70.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました内容を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,448,142	4,602,156
受取手形及び売掛金	2,296,038	2,141,705
電子記録債権	389,842	380,608
商品及び製品	209,212	198,194
仕掛品	675,530	818,384
原材料及び貯蔵品	305,507	300,843
その他	508,671	476,387
貸倒引当金	△1,735	△1,336
流動資産合計	8,831,210	8,916,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,003,726	1,992,247
機械装置及び運搬具(純額)	516,949	513,795
土地	2,404,359	2,404,351
その他(純額)	134,603	205,272
有形固定資産合計	5,059,639	5,115,667
無形固定資産		
投資その他の資産	13,778	17,006
投資有価証券	1,679,380	1,699,272
その他	564,358	562,963
貸倒引当金	△1,282	△1,182
投資その他の資産合計	2,242,457	2,261,053
固定資産合計	7,315,875	7,393,727
資産合計	16,147,085	16,310,671

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	769,024	784,661
短期借入金	1,385,104	1,385,104
未払法人税等	168,091	31,899
賞与引当金	93,716	154,802
役員賞与引当金	13,600	17,000
受注損失引当金	6,324	10,156
その他	726,545	963,638
流動負債合計	3,162,406	3,347,262
固定負債		
長期借入金	121,194	72,721
役員退職慰労引当金	133,670	91,436
環境安全対策引当金	35,479	36,835
退職給付に係る負債	692,461	682,168
資産除去債務	56,156	56,251
その他	456,849	490,207
固定負債合計	1,495,811	1,429,619
負債合計	4,658,218	4,776,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	9,067,699	9,111,769
自己株式	△10,854	△10,875
株主資本合計	10,968,102	11,012,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	452,251	465,492
繰延ヘッジ損益	126	178
為替換算調整勘定	96,739	83,082
退職給付に係る調整累計額	△28,352	△27,114
その他の包括利益累計額合計	520,764	521,637
純資産合計	11,488,867	11,533,788
負債純資産合計	16,147,085	16,310,671

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,341,647	2,152,260
売上原価	1,876,824	1,717,655
売上総利益	464,822	434,604
販売費及び一般管理費	313,012	295,449
営業利益	151,810	139,155
営業外収益		
受取利息	336	224
受取配当金	23,668	23,869
持分法による投資利益	30,522	—
保険解約返戻金	—	14,834
その他	10,062	11,675
営業外収益合計	64,589	50,603
営業外費用		
支払利息	2,932	2,583
持分法による投資損失	—	365
休廃止鉱山管理費	8,272	10,604
その他	10,786	3,764
営業外費用合計	21,991	17,317
経常利益	194,407	172,440
特別利益		
固定資産売却益	4	1
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産処分損	605	2,104
その他	—	512
特別損失合計	605	2,617
税金等調整前四半期純利益	193,807	169,825
法人税、住民税及び事業税	66,444	36,889
法人税等調整額	△14,846	25,102
法人税等合計	51,597	61,992
四半期純利益	142,209	107,832
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,209	107,832

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	142,209	107,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57,671	13,241
繰延ヘッジ損益	924	51
退職給付に係る調整額	762	1,237
持分法適用会社に対する持分相当額	△34,769	△13,657
その他の包括利益合計	△90,753	872
四半期包括利益	51,455	108,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,455	108,705
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,644,895	509,673	30,510	156,566	2,341,647	—	2,341,647
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	53	—	132	185	△185	—
計	1,644,895	509,726	30,510	156,698	2,341,832	△185	2,341,647
セグメント利益又は損 失(△)	143,994	△1,355	10,354	△3,232	149,761	2,048	151,810

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去2,580千円、全社費用△531千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,375,463	557,372	34,998	184,426	2,152,260	—	2,152,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	53	—	3,348	3,401	△3,401	—
計	1,375,463	557,425	34,998	187,774	2,155,661	△3,401	2,152,260
セグメント利益又は損 失(△)	99,389	△8,322	18,352	27,459	136,879	2,275	139,155

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去2,580千円、全社費用△304千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。